

建築・都市



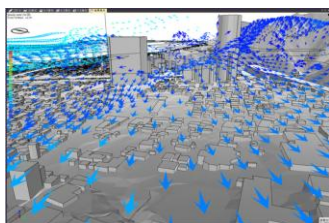
キーワード：建築情報処理、BIM

建築BIMの導入支援

理工学部 建築学科 教授
戸泉 協 TOIZUMI Kanou

研究の内容

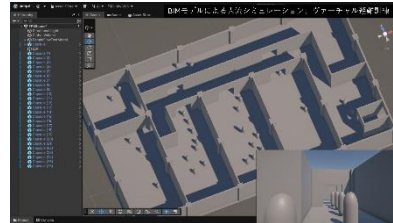
建築分野では世界的に、建築の企画、計画、設計、施工、竣工後の維持管理までも含めて、建築のライフサイクル全体を通してプロセスの情報化が進められています。その技術の一つとして、建築情報をその形状も含めて電子化し共有しようという BIM（Building Information Modeling）が注目されており、世界的に普及が進んでいます。しかし、日本の建築業界でもBIMの導入が進んではいるものの、期待されているほどには普及していません。BIMソフトは便利なのに、なぜ浸透しきれないのか。そもそもBIMとは何なのか。今、日本特有の建築プロセスに最適なBIMの在り方を見出すべき局面にきています。本研究室では、BIMソフトだけでなく、シミュレーション技術やXR、そして急速に発展するAIといったデジタル技術が現在どのように建築分野で活用され、どこに課題があるのかを考察。そのうえで、日々進化する先端技術を検証・実験し、建築設計や建築学にどのように活用できるか、その可能性を多角的に探究します。



BIMモデルを使用した
環境シミュレーション



BIMモデルを使用したリアル
タイムCGプレゼンテーション



BIMモデルを使用した避難
シミュレーション

産学連携・社会連携へのアピールポイント

- ・ 建築生産側ではなく、建築を発注する側でBIMを導入するとどのようなことができ、どういうメリットがあるか、提案できます。
- ・ BIM利用技術者2級試験についての講習ができます。
- ・ BIMソフトの使い方やBIMデータを活用する方法についての講習ができます。

研究者総覧（戸泉 協）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000889_ja.html

